

第 2 回策定委員会の振り返り

委員名	発言内容	対応方法
鶴田委員	施策 2-1：まちなか居住にある「良好な住環境」がどういうものかイメージしにくい。	施策の前段の部分で説明を記載しました。
	施策 2-1 の（高度利用）という言葉は、マンション建設に限られてしまうので取った方がいいのではないか。	高度利用に限らず住宅供給を促進するため、削除しました。
	第 4 章の推進体制で、「地元住民・地元商店」となっているが、「地元」という言葉は取った方がいいのではないか。地元住民以外は関係ないと捉えられてしまう恐れがあるように思う。	中心市街地に住む人以外にも携わってってもらいたいため、表現を「市民・商店・来街者」としました。
	まちづくり活動の担い手が地元住民、地元商店の枠と別になっているが、この中で行われるものだと思う。情報発信体制の強化の上に地域活動があって、その中にまちづくり活動があるイメージである。	計画の推進にむけた方針と推進体制とを区別し、整理しました。
生田委員	ワークショップで防災に関する課題が挙げられているが、それに関する施策がないので入れた方がいいのではないか。	施策 2-1 「まちなか居住」に記載しました。
	今後、この計画をどのように進めていくかが見えてこない。事業の進捗状況や計画の見直しのタイミングなどを第 4 章に記載した方がいいと思う。	事業の実施計画であるアクションプログラムの策定や計画の見直し時期について第 4 章に記載しました。
	「住みたいまち」の議論がまだ十分でないように感じる。市の居住施策と中心市街地での位置付けや求める住環境などについて整理する回があってもいいのではないか。	施策の前段の部分で説明を記載しました。また、市の施策については参考資料として添付いたしました。
名和委員	まちづくりと人づくりはセットだと思う。子どもたちの教育の場で、その機会やきっかけづくりができるとよい。	施策 2-3 の取組の中で今後検討していきます。
副島委員	小牧山が防災拠点になるという記載があってもいいのではないか。	施策 2-1 ②の想定される取組に記載しました。
眞水委員	市民会館で行われている文化セミナーなどを空き店舗で開催するのはどうか。 若者に対して LINE を活用した周知をしたり、お寺フェスなど多世代が交流できるイベントの開催ができるとよい。 小牧市出身の芸術家の作品を展示する。	施策 3-1、3-2 の取組の中で今後検討していきます。

委員名	発言内容	対応方法
水野委員	高層マンションが林立することが良好な住環境につながるのか、整理が必要。	限られた土地を有効に活用するため高度利用は必要であると考えますが、公園・緑地等の整備や地域で支え合う環境の推進など併せて取り組んでいくことで、良好な住環境を整備していくこととします。
加藤委員	飲食店が少ないのは確かだが、空いている店舗でもオーナーが貸したがない場合が多い。駒止公園や図書館跡地など市の土地に入ってもらってもいいのではないか。	施策３－１及び３－２の取組の中で今後検討していきます。
秦野委員	将来像が伝わりにくい。小牧山と中心市街地を取り上げているのは前提であるので、ここにどう特色を出していくのかを共有できるものがあると思う。	中心市街地グランドデザインは都市計画マスタープランに則す計画であるため、将来像は都市計画マスタープランの地域別構想におけるまちづくりの目標としています。この将来像の実現のため、中心市街地が「訪れたいまち」、「住みたいまち」、「活力があるまち」となるよう施策に取り組んでいくこととしています。
犬飼委員	空き店舗の活用方法として、民芸品の展示なども検討できるとよい。具体例がないと、どうしても飲食店のイメージになってしまう。	施策の前段部分の説明を補足しました。
	「住みたいまち」という柱について、定住促進は中心市街地に限った話ではないし、違和感を覚える。	参考資料で本市の定住促進事業と中心市街地での考え方について整理しました。
	店舗の誘致ではなく、自分たちのまちから企画していくことも重要である。	施策３－２②の取組の中で今後検討していきます。
日比野委員	今回のエリアには合瀬川も一部かかっている。「水」も人が集まる要素であるから、記載できるならあった方がいいかと思う。	施策２－２②の取組の中で今後検討していきます。

委員名	発言内容	対応方法
廣瀬委員	子育てにプラスになることだと、子育て世代はまちづくり活動に参加するようになると思う。 商店街の空き店舗を使って、商店街ホテルという構想もできるのではないか。	施策２－３及び３－１の取組の中で今後検討していきます。
伴野委員	マンションの住人というのは、地域活動に参加したがない人が多いように思う。参加しない人をどう取り込んでいくかが重要。コミュニティスクールと連携するなど、子どもや学校を取り込んでいけるとよい。	施策２－３の取組の中で今後検討していきます。